

# 美 麗 な 戦 績

◎問い合わせ

総務課 秘書広報係 ☎37-0088

## 全国総体 出場決定

### 新体操男子団体 神埼清明高（39大会連続52度目優勝）



川内珠羅主将（3年・佐賀市）

3月の全国選抜大会で優勝した時と同じ演技で、大きなミスもなく、いい出来だった。だが、このままでは全国では負けてしまうかもしれない。全国総体では新しい演技構成にかえて臨む予定なので、もっとレベルアップして、全国の頂点に立ちたい。

#### 【中山智浩監督】

チームとしての練習が不足していたため、県総体は少し演技レベルを下げて臨んだ。全国総体は新しい構成で、難度も上げる。採点方法が変わるなど、難しさも加わるが、コンディションを整えながら、新しい演技を仕上げていきたい。



## 全国総体 出場決定

### ハンドボール女子 神埼清明高（6大会連続43度目優勝）



菱岡なる美主将（3年・神埼町姉川上分）

新人戦で優勝したものの、その後はうまくいわずに悔しい思いをした分、練習に打ち込んだ。私自身4月にけがをして完治しないままだったが、みんなが奮起してチーム力が上がったように思う。全国大会で戦うことを思い描いて練習してきたので、得意とするディフェンスからの速攻という戦い方で自分たちの流れをつくり、ベスト8を目指したい。

#### 【貞島早苗監督】

菱岡主将以外は高校から始めた選手で、菱岡主将のけがでチームは万全とはいえない状況だった。大会を通じて難しい戦いとなったが、苦しい場面で粘ることができたことが優勝できた要因かもしれない。全国総体に向けて課題はたくさんあり、守備も、攻撃もレベルアップが必要。チャンスを得たので、全国で戦えるチームをつくりたい。





# 神埼と神埼清明の選手が躍動 県高校総体／九州大会、全国総体へ

5月から6月にかけて開かれた第60回佐賀県高等学校総合体育大会で神埼高校と神埼清明高校の選手たちが躍動しました。新体操男子団体とハンドボール女子で神埼清明高校が優勝、サッカー女子とカヌー女子団体で神埼高校が頂点に立ちました。このうち3チームは7月に行われる全国高校総体出場を決めました。



全国総体  
出場決定

## カヌー 神埼高（女子団体が8大会ぶり6度目優勝）

男子は片側にだけ水掻きがついたパドル（かい）で漕ぐ「カナディアン」、女子は艇に甲板があり、選手が座って両側に水掻きが付いたパドル（かい）で漕ぐ「カヤック」で挑戦。男子のシングルとペア（2人乗り）、女子フォア（4人乗り）の3組が優勝し、全国総体出場権を勝ち取りました。全国総体でもそれぞれの目標を掲げ、ベストを尽くします。



### 男子カナディアンシングル

城島寿成さん（3年・神埼町姉川上分）

昨年の全国総体のイメージを思い描き、緊張感をもって県総体に臨んだが、思うようなタイムが出せなかった。修正しなければならないポイントがたくさんある。全国総体では優勝を目指したい。

### 男子カナディアンペア

佐々原遥音さん（2年・吉野ヶ里町）・前田空我さん（2年・みやき町）  
大石誠也さん（1年・みやき町）

県総体は初めての会場で距離感がつかめず、本来の漕ぎができなかった。日ごろから本番レースを意識して練習し、全国総体ではぜひ入賞したい。



### 女子カヤックフォア

末次はるかさん（1年・佐賀市）・萩野未来さん（1年・上峰町）  
八谷咲希さん（1年・上峰町）・小川遥さん（1年・上峰町）  
中村礼菜さん（1年・上峰町）

県総体が初めての試合だった。体力をつけることや、体幹を鍛えてバランスを安定させることなど課題は多くある。それぞれ個性が異なるユニークなチーム。みんなで呼吸を合わせて挑戦したい。

### 【園田里志監督】

1年生の入部者が多く、強化体制を整えつつある中での県総体で、全国総体出場権を掴むことができた。近年、全国的にレベルが上がっているが、3月に全国ベスト10に入った城島選手をはじめとして、自己記録を更新し、上位入賞を目指したい。

県総体  
12連覇

## サッカー女子 神埼高（12大会連続12度目優勝）



初戦は佐賀学園を17-0で圧倒しました。決勝は武雄を相手に、前半8分にMF増野美咲さん（2年）が先制ゴール。その後も果敢に攻め、前半で4点をリードしました。後半もFW堤琉藍さん（2年）がこの日2点目のゴールを決めるなどして2点を加え、6-0で優勝を決めました。強豪が集まった全九州大会では初戦で神村学園高校（鹿児島県）に敗れ、全国総体出場はかないませんでした。県総体の優勝回数を伸ばし県内トップの力を示しました。



中島紗耶ゲームキャプテン（3年・多久市）

最初は自分たちでプレッシャーに追い込まれてしまい、がちがちに硬くなってしまった。時間が経過するに連れて落ち着き、攻撃の形をつくることのできるようになった。

県総体12連覇に慢心することなく、今後も努力を続け、上を目指したい。

### 【相島哲治監督】

（コロナウイルス感染症の影響で）スタジアムで観客を前に戦うことがなかった中、最初は緊張でミスが相次いだ。早い段階で得点を取ったことで落ち着いて力を発揮できた。12連覇は先輩をはじめ、多くの方が積み重ねてきたものが伝統となっているのだろう。

今後も、目標である全国高校サッカー選手権出場を目指して日々のトレーニングを大事にしていきたい。





## 女子ソフトボール県大会 千代田中が全国大会へ

5月16日



千代田中学校ソフトボール部が、第50回佐賀県中学生女子ソフトボール選手権大会の優勝を市長に報告しました。

同部は部員9人で決勝戦までの計5試合を戦い抜き、8月に大阪府で開催される全国大会の出場権を見事に勝ち取りました。

7月の中体連を控え、大坪麗奈さん(3年)は「みんなで繋いでいくプレーを心がけ、優勝したい」と抱負を語り、市長は「全国大会でも頑張ってもらいたい」とエールを送りました。

## 大きく育ててね ちよだ保育園で野菜の植栽

5月11日



ちよだ保育園の園児が、園の畑「わんぱくふれあい農園」で芋やピーマン、ミニトマトなど8種類の野菜の植栽を行いました。子どもたちは苗に優しく土をかけ、丁寧に植えていきました。

これから苗に水やりのお世話をしながら成長を見守り、野菜の収穫と秋の芋掘りを楽しみにしています。

## ペットボトルキャップで 世界の子どもにワクチンを

5月23日



仁比山小学校で、児童が集めたペットボトルキャップの引き渡し式があり、NPO法人佐賀学生スーパーネットに総重量214kgが渡されました。

この取り組みは、世界の子どもたちを助けるワクチンに交換してもらおうと同校ボランティア委員会が中心となって行ってきたもので、委員長の牟田和央さん(6年)は「できるだけたくさんの方がワクチンを打てるようになってほしい」と話しました。

## 県身体障害者ゲートボール大会 準優勝で九州大会へ

5月14日



神崎市身体障害者福祉協会チームが、多久市で開催された第42回佐賀県身体障害者ゲートボール大会で見事準優勝に輝きました。

協会会長で選手の筒井信秀さん(千代田町川崎)は「会員の皆さんが交流を深めながらスポーツを楽しんでいる。今後も良い結果を出し、協会の活動を活気づけたい」と意気込みを語りました。

同チームは9月に宮崎県で開催される九州大会に出場を予定しています。





Facebook アカウント名:くねんニャン  
<https://www.facebook.com/kankoukankazi/>



Instagram アカウント名:くねんニャン【公式】  
<https://www.instagram.com/kunennyan0501/>



## 地域公共交通を 利用しましょう!

5月29日



神埼町城原地区で、神埼町、千代田町内を運行している巡回バスとNORARU(のらる。予約型乗合タクシー)の説明会が開かれ、運行概要や乗り方の説明、登録申請の受け付けをしました。

また、同地区で共助の地域づくりに取り組む一般社団法人きばる塾から、地域自らが主体となった移動手段の確保に向けて住民の意見を募るため、NORARUの活用を促す取り組みについての説明がありました。

企画課では、地域公共交通に関する説明会を随時開催しています。

☎ 企画課 地域振興係 ☎37-0102

## 花いっぱい運動 商工会女性部から花の寄贈

5月24日



神埼市商工会女性部から長崎街道門前広場、脊振交流センター、千代田交流センターに日々草などの花を寄贈していただきました。

同部では2年前から「コロナに負けずに頑張る市民の皆さんを癒したい、毎日を元気に過ごしていただきたい」という思いで、春と秋の2回、花植えをされており、この「花いっぱい運動」を通して、地域貢献に取り組まれています。

## 神埼地区日中友好協会 設立20周年記念式開催

6月5日



神埼地区日中友好協会総会および設立20周年記念式が開かれました。

同協会は2002年に設立され、これまで西九州大学中国人留学生の出身地訪問や中国語講座、太極拳教室などを通して会話や文化を学び、交流を続けてきました。

式典では實松信子会長が「時代の変化の中でも両国民が理解、尊重、協力し合い、30周年、40周年を目指していきたい」と挨拶。また、長年の活動功績を称え、16人に感謝状が贈呈され、西九州大の田中豊治教授による記念講演も行われました。

## チャレンジデー2022 金メダル獲得!

5月25日



神埼市チャレンジデー2022が開催され、今回は秋田県北秋田市と対戦しました。

神埼市の参加率は58.7%(参加者18,124人)となり、北秋田市(59.6%)には及びませんでしたが、参加率55%以上を記録し、金メダルを獲得しました。

当日は、市内体育施設を無料開放し、西九州大学では多くの学生がラジオ体操に参加するなど、さまざまなスポーツイベントが行われ、今回13回目を迎えたチャレンジデーに多くの方が参加しました。これからも定期的に身体を動かし、健やかな毎日を送りましょう。